



空飛ぶ魚を追って

★NHK 夜10・00

海面から飛び出すや、時速70キロで数百キロも滑空する。旅する魚、トビウオ―写真。赤道直下の南の島から日本まで5千キロ、その知られざる世界を追う。

試写室

海の民が活力の象徴に

魚の王様。神から授けられた神聖な魚。遠くからやってきた特別な魚。天からきた魚。人は不思議なこの魚を色々な名前と呼び、あがめ、捕らえようと様々な漁法を編み出した。

ミクロネシアの孤島に残るトビウオ漁は、長老が決めた夜にたいまつで海を照らし、集まったところをすくう勇壮なもの。男性だけが小屋に集って漁の準備をし、バナナを食べてはいけななど細かいタブーがある。台湾の先住民の島では、うろこは海岸で落とす、背中から開くなど、さばき方にも決まりがある。日本でも、伊勢の神社では豊作を祈願して神に供える。その姿は、活力の象徴。美しい海の映像と共に、躍動感が伝わってくる。(竹田さをり)